

3 区の情報発信のあり方

-
- (1) 区に関する情報の入手手段
 - (2) 区が発信する必要がある情報
 - (3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況
 - (4) 区の情報得られない理由
 - (5) 「お問い合わせコールあだち」の利用状況
-

3. 区の情報発信のあり方

(1) 区に関する情報の入手手段

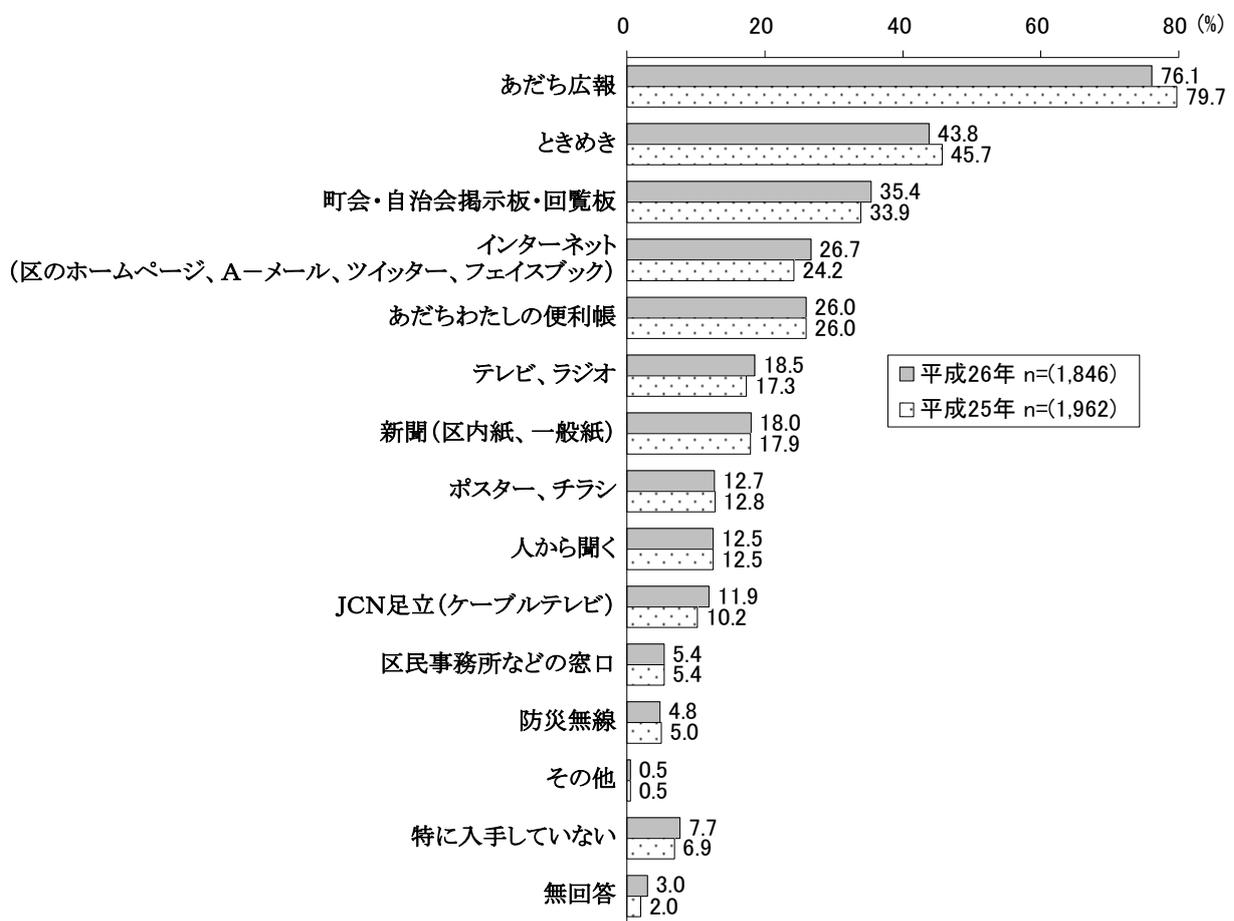
■ 「あだち広報」が7割台半ば

足立区では、あだち広報やホームページ、メール配信システム（A-メール）等で区の情報発信するほか、25年度からはツイッターやフェイスブックなどによる情報発信も開始しました。

問10 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか。

(○はあてはまるものすべて)

図3-1-1 前回調査比較／区に関する情報の入手手段



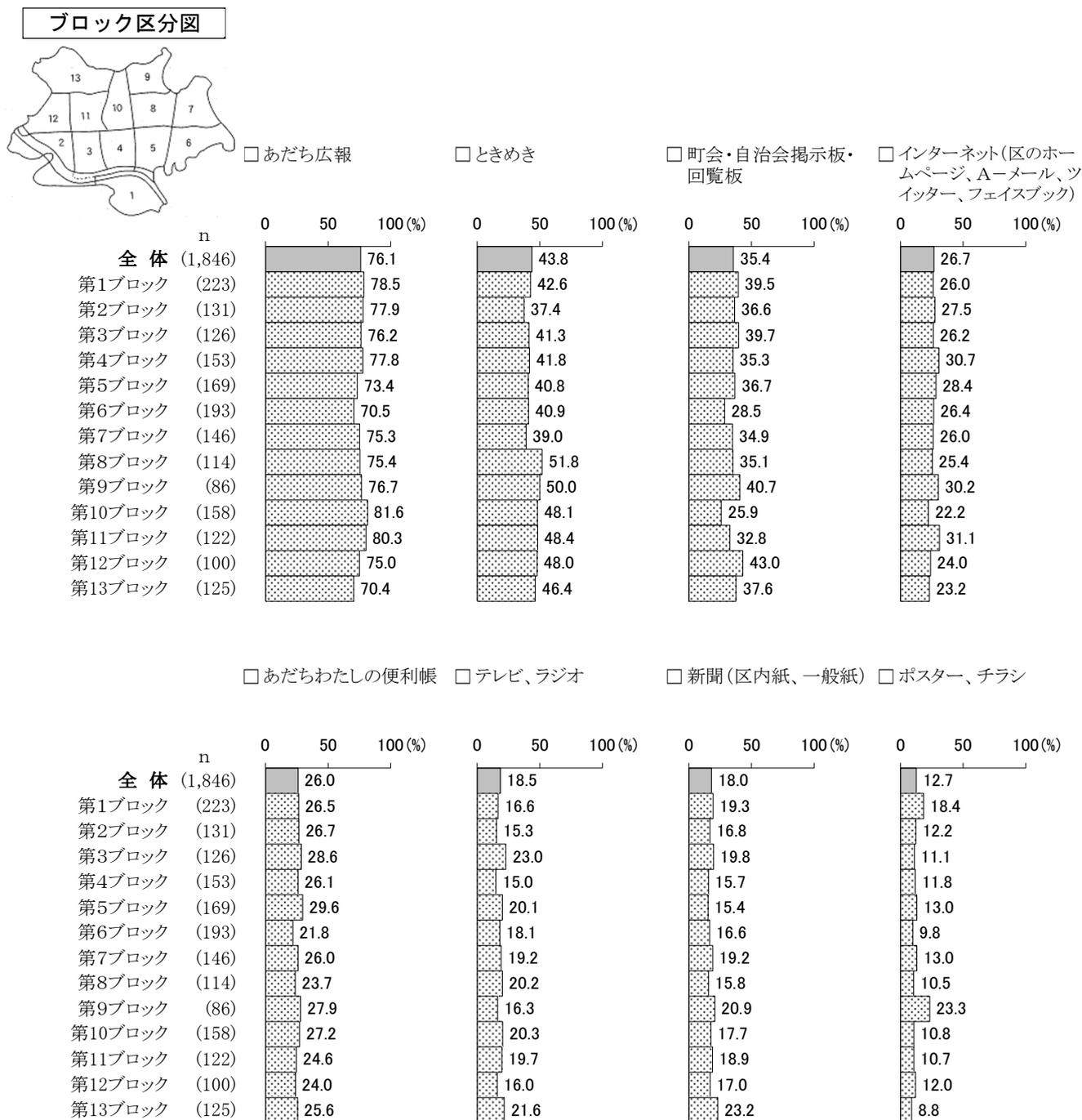
足立区に関する情報の入手手段としては、「あだち広報」が76.1%で最も高く、以下「ときめき」(43.8%)、「町会・自治会掲示板・回覧板」(35.4%)の順となっている。

前回結果と比較すると、「あだち広報」は79.7%から76.1%と、微減している。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別でみると、すべてのブロックで「あだち広報」は高くなっている。また、「ときめき」については、第8ブロック、第9ブロック、第10ブロック、第11ブロック、第12ブロックで、いずれも5割前後を占め、他のブロックより高くなっている。

図3-1-2 地域ブロック別／区に関する情報の入手手段／上位8項目

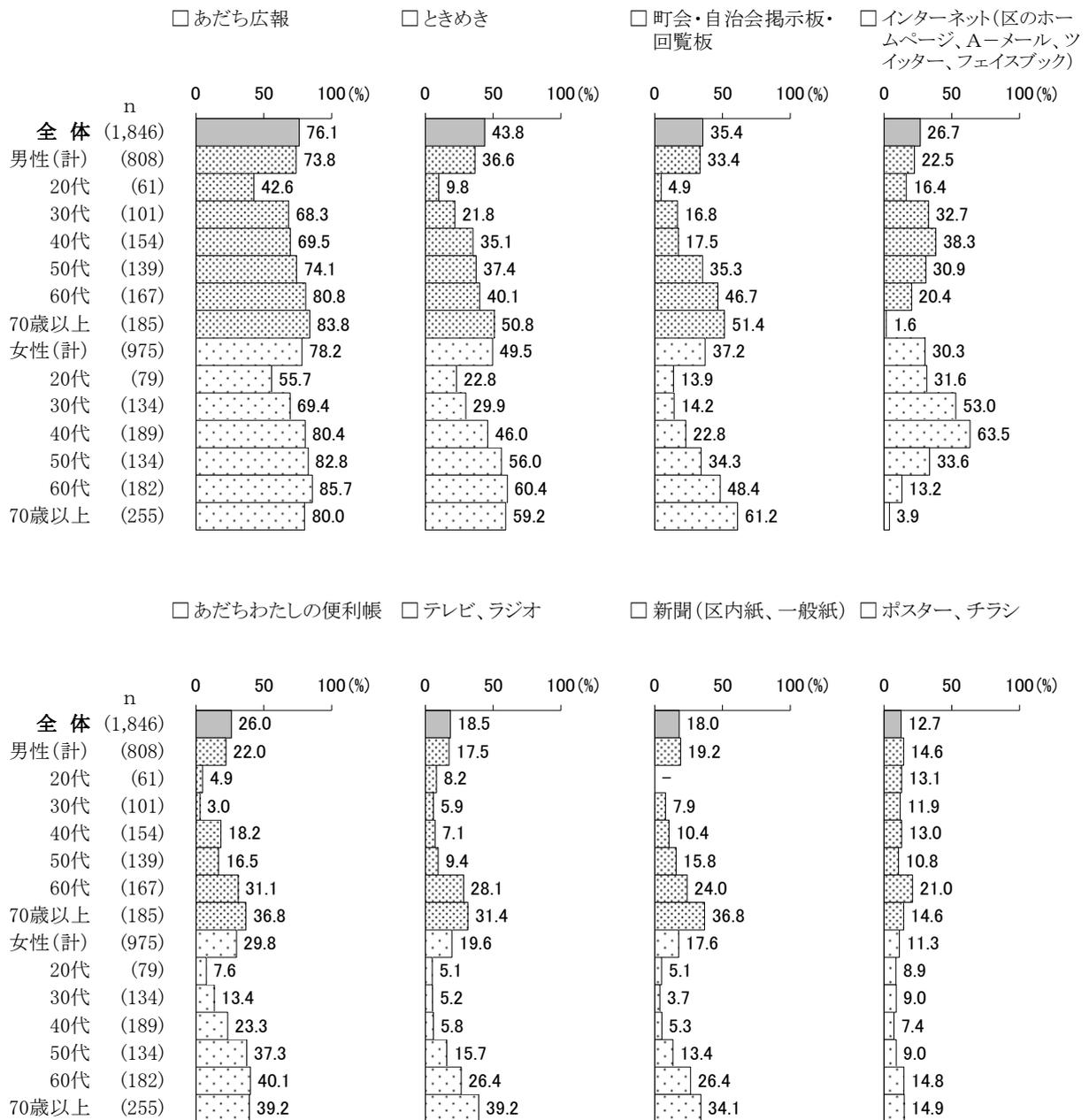


性別でみると、「あだち広報」は、男性73.8%、女性78.2%、「ときめき」は男性36.6%、女性49.5%と、上位8項目のうち、6項目で男性より女性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、30代、40代、50代では「インターネット」が、いずれも3割を超えて他の年代より高くなっている。女性では、40代で「インターネット」が63.5%を占めているほか、30代でも53.0%となっている。

「町会・自治会掲示板・回覧板」は、男女とも60代、70歳以上で5割弱から6割強と高くなっている。

図3-1-3 性別、性・年代別/区に関する情報の入手手段/上位8項目



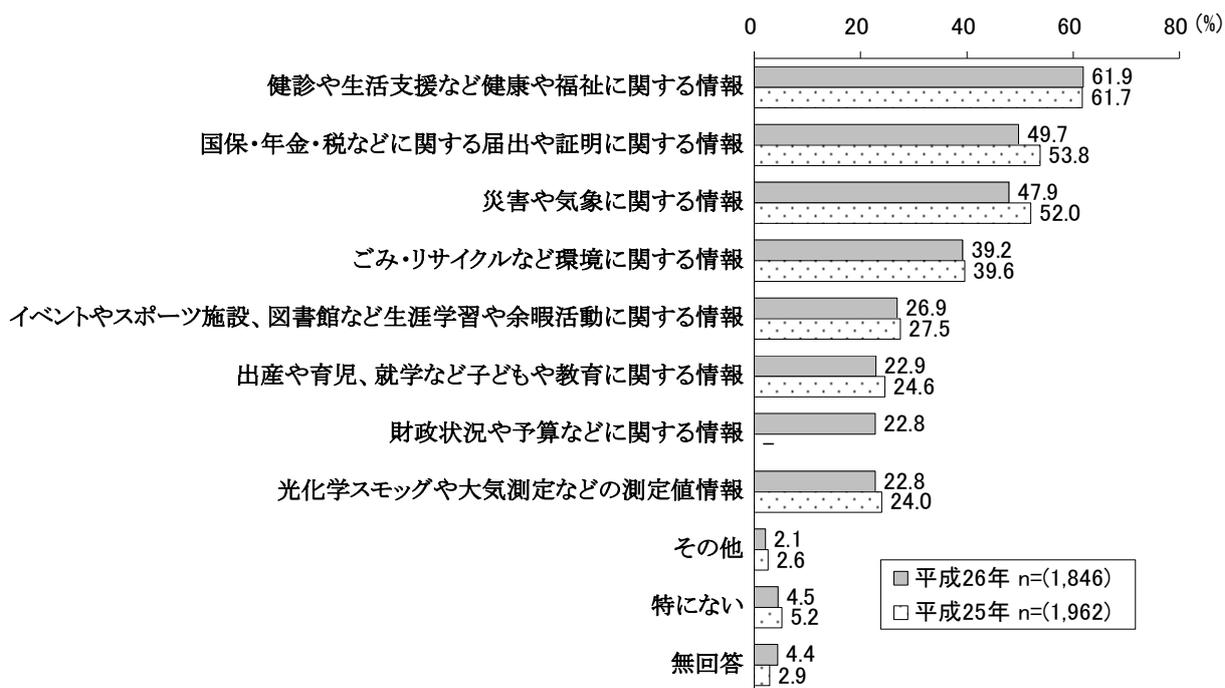
(2) 区が発信する必要がある情報

■ 「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が6割を超える

問11 あなたは、区が発信するどのような情報が必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

図3-2-1 前回調査比較／区が発信する必要がある情報



※「財政状況や予算などに関する情報」は、今年度新設。

必要とする区の情報としては、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が61.9%で最も高く、以下「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」(49.7%)、「災害や気象に関する情報」(47.9%)の順で続いている。

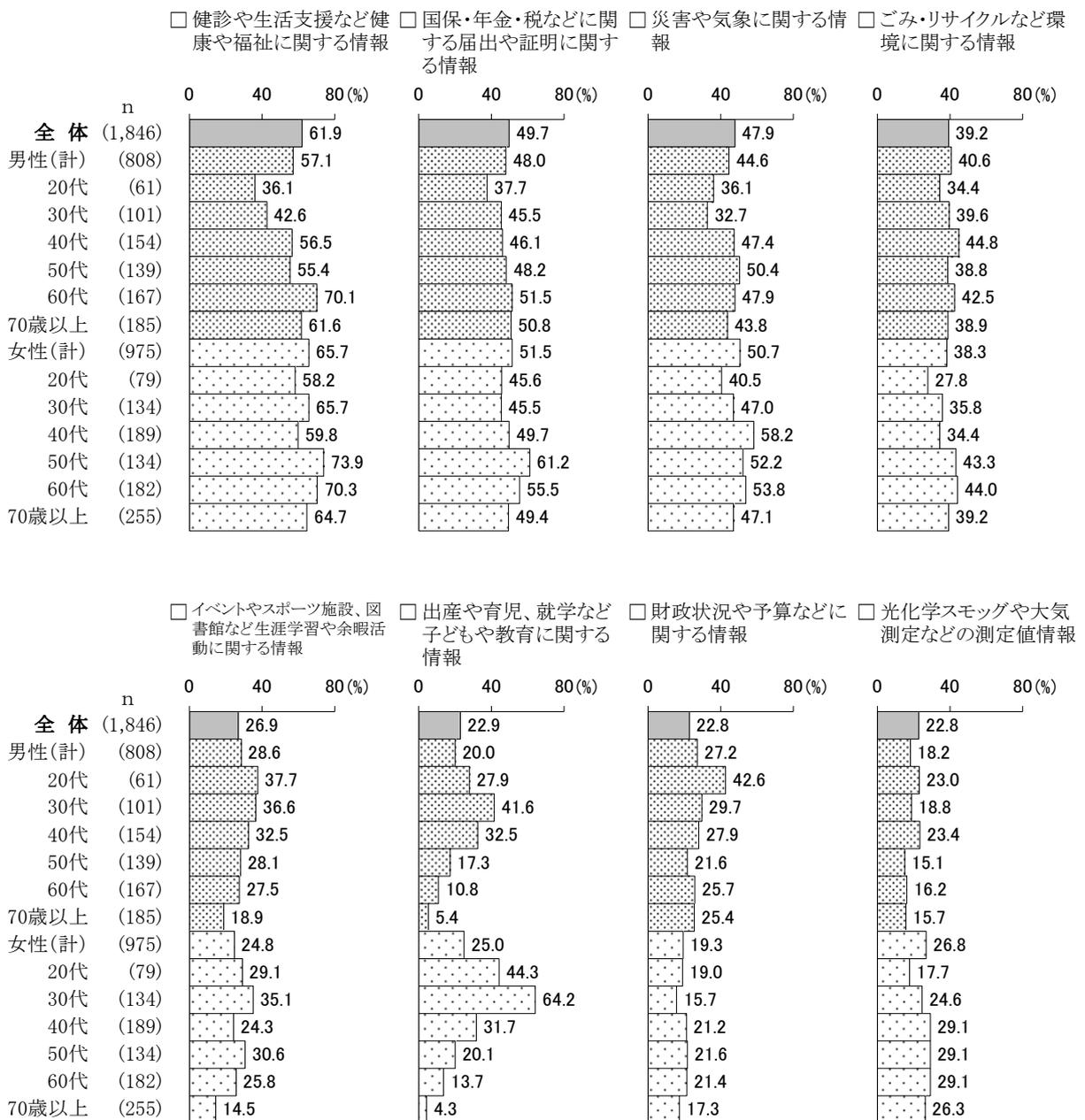
前回結果と比較すると、「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」「災害や気象に関する情報」が、ともに約4ポイント低くなっているほか、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」を除く、すべての項目で微減している。

性別でみると、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」は、男性57.1%、女性65.7%と男性より女性が8.6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が、60代、70歳以上でそれぞれ70.1%、61.6%と高くなっている。また、50代以上では「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」が5割前後を占めている。

女性では、50代、60代で「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が、それぞれ73.9%、70.3%と高くなっている。また、40代、50代、60代では、「災害や気象に関する情報」がいずれも5割を超えている。

図3-2-2 性別、性・年代別／区が発信する必要がある情報

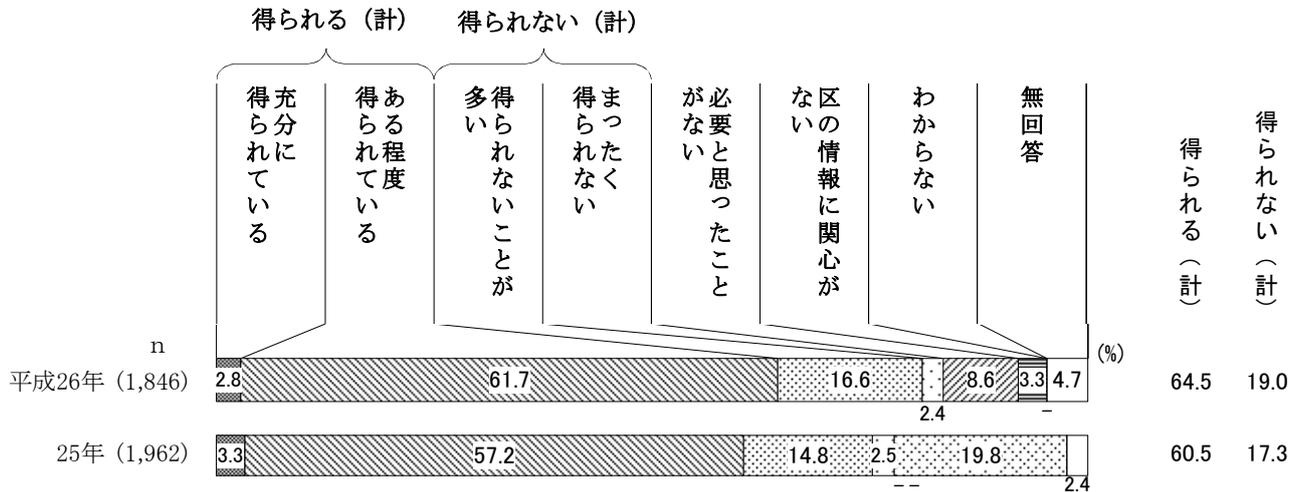


(3) 必要な時に必要とする区の情報の入手状況

■ 必要な時に【得られる】が6割台半ば

問12 あなたは、必要なときに必要とする区の情報を得られていますか。(○は1つだけ)

図3-3-1 前回調査比較/必要な時に必要とする区の情報の入手状況



※「必要と思ったことがない」「区の情報に関心がない」は、今年度新設。

※「わからない」は、今年度削除。

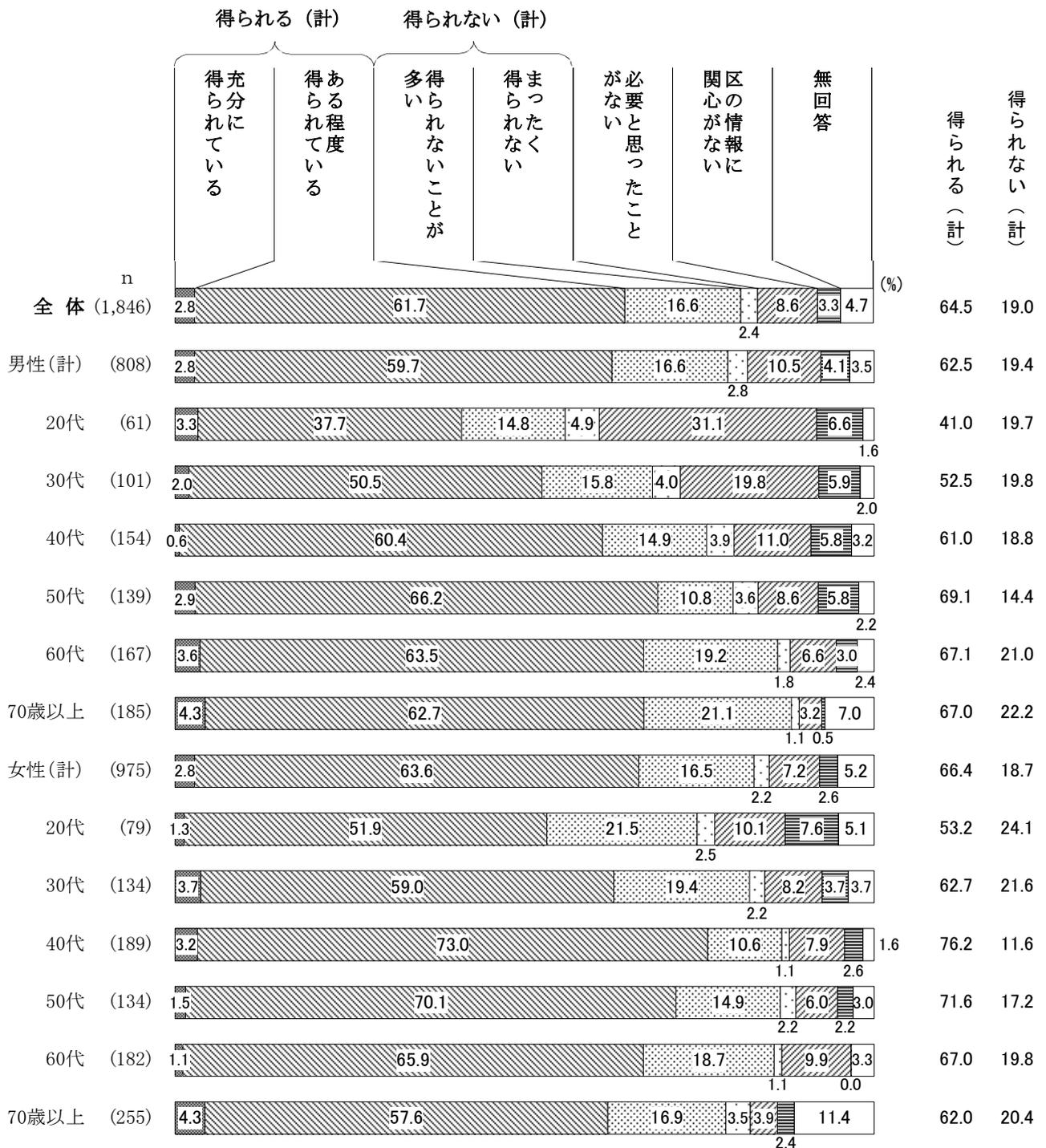
必要な時に必要とする情報を得られているかについては、「十分に得られている」が2.8%で、これに「ある程度得られている」の61.7%を合わせた【得られる】は64.5%となっている。一方、【得られない】は19.0%となっている。

前回結果と比較すると、【得られる】は60.5%から64.5%と高くなっている。

性別でみると、【得られる】は男性62.5%、女性66.4%となっている。

性・年代別でみると、男性では50代、60代、70歳以上で【得られる】が、いずれも7割近くを占めて高くなっている。女性では40代、50代で【得られる】が、それぞれ76.2%、71.6%と高くなっている。

図3-3-2 性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況

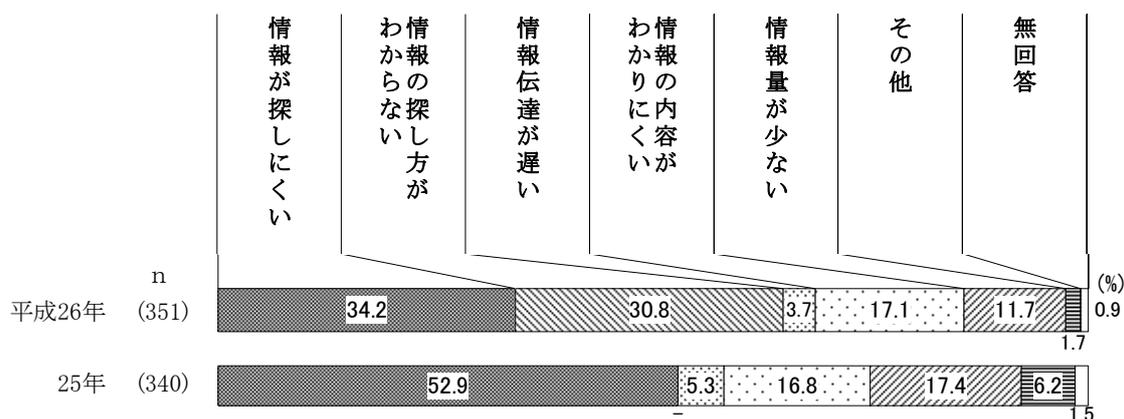


(4) 区の情報得られない理由

■ “探しにくい” “探し方がわからない” が、ともに3割を超える

問12で「3. 得られないことが多い」、または「4. まったく得られない」とお答えの方に
問12-1 どのような理由からですか。(〇は1つだけ)

図3-4-1 前回調査比較/区の情報得られない理由

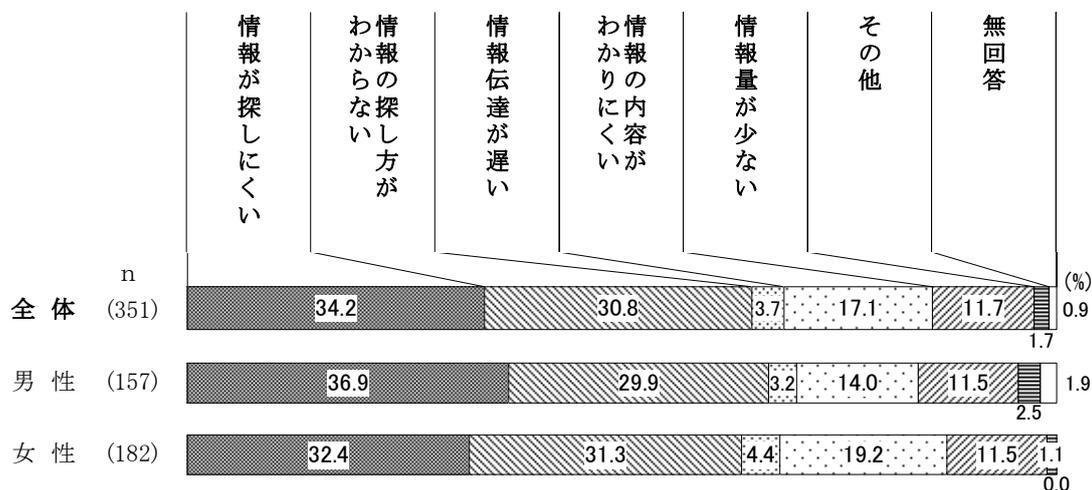


※「情報の探し方がわからない」は、今年度新設。

【得られない】という人に、その理由を聞いたところ、「情報が探しにくい」が34.2%で最も高く、次いで「情報の探し方がわからない」(30.8%)となっている。

性別でみると、「情報が探しにくい」が男性36.9%、女性32.4%と女性より男性で高くなっている。

図3-4-2 性別/区の情報得られない理由

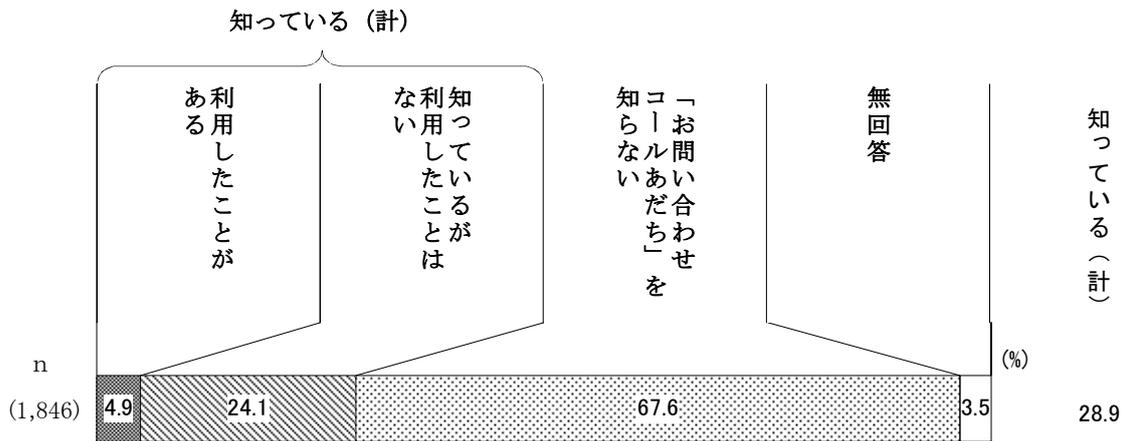


(5) 「お問い合わせコールあだち」の利用状況

■ 【知っている】は3割弱

問13 あなたは、「お問い合わせコールあだち」を利用したことがありますか。
 (○は1つだけ)

図3-5-1 「お問い合わせコールあだち」の利用状況



「お問い合わせコールあだち」について、「利用したことがある」が4.9%で、これに「知っているが、利用したことはない」(24.1%)を合わせた【知っている】は28.9%である。一方、『お問い合わせコールあだち』を知らない」は67.6%となっている。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、【知っている】は男性23.9%、女性33.3%と女性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、50代、70歳以上で【知っている】が3割前後を占め、他の年代より高くなっている。女性では、40代、60代で【知っている】が4割近くと高くなっている。

図3-5-2 性別、性・年代別／「お問い合わせコールあだち」の利用状況

